

# くみやま

議会  
だより



No.  
129

平成25年  
2月1日号  
発行／京都府  
久御山町議会



## 12月定例会

- 定例会議決事項など……………2P～
- 一般質問……………6P～
- 常任委員会閉会中の事務調査報告…13P～
- 視察研修報告など……………14P～
- ホープ登場<sup>⑱</sup>……………20P

〔表紙写真：無病息災を願う左義長(御牧小学校)〕

## 3月定例会の予定

- 2月26日(火) 開 会
- 3月12日(火) 一般質問
- 3月27日(水) 閉 会

※日程は、変更することがあります。

4月から

# 久御山町の

# 組織・機構が再編!

12月定例会

12月4日~21日

平成24年第4回定例会が、12月4日から21日までの18日間の会期で開かれました。

今議会では請願や町長から提出された条例の制定と改正、補正予算など31件の議案について審議しました。請願を除き、いずれも原案のとおり可決されました。

また、町行政改革のひとつとして、定員（職員）適正化をすすめるなか、久御山町の組織を再編する条例改正も議決され、4月から新しい体制がはじまることになりました。

そのほか、9月定例会決算特別委員会に付託し、審査された平成23年度各会計決算7件も、すべて認定されました。一般質問には6人の議員が当面の諸課題について考えをいただきました。

## ポイント

今議会でも多くの条例議案が審議されたことには理由があります。

二年前の通常国会において、地域の自主性・自立性を高めるために法制化（第1次・第2次一括法）が進められたことにより、今までのような国からの「義務付け・枠付け」を見直し、地方自治体の裁量の余地を広げることが可能になったためです。

地域にあった行政サービスを実現するための、いわゆる地方分権改革のひとつですが、施行期日が迫っていること、住民の皆さまへの周知期間を考慮させていただいた結果です。

## 条例制定・条例改正

◆久御山町部設置条例及び久御山町水道事業の設置等に関する条例一部改正について

新たな行政課題や住民ニーズに即応した行政サービスを行うとともに、効率的で効果的な組織へ見直しを行うため、改正するもの  
【賛成多数】

◆久御山町立幼稚園保育料条例一部改正について  
保育料納入に係る利便性の向上及び徴収事務の円滑化を図るための改正

◆久御山町議会委員会条例一部改正について  
【全員賛成】

◆久御山町議会会議規則一部改正について  
【全員賛成】

◆久御山町議会政務調査費の交付に関する条例全部改正について  
【全員賛成】

◆久御山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定について  
【全員賛成】

◆久御山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について  
【全員賛成】

◆久御山町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する条例制定について  
【全員賛成】

◆久御山町移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例制定について

【全員賛成】

◆道路法に基づく町道の構造の基準に関する条例制定について

【全員賛成】

◆久御山町の町道に設置する道路標識の寸法等に関する条例制定について

【全員賛成】

◆久御山町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定について

【全員賛成】

◆久御山町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定について

【全員賛成】

◆久御山町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定について

【全員賛成】

◆公平委員会の委員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について

【全員賛成】

◆久御山町実費弁償条例一部改正について

【全員賛成】

◆久御山町都市公園条例一部改正について

【全員賛成】

◆久御山町公共下水道条例一部改正について

【全員賛成】

## 請 願 審 査

◆生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書の提出を求める請願

請願者 久御山生活と健康を守る会

代表者 丸本 進氏

賛成討論 異 悦子議員

【賛成少数で不採択】

## 指 定 管 理 者

◆久御山町指定管理者の指定について

久御山町健康センターいきいきホール管理について、指定管理者を指定するもの

（指定管理者に指定する団体）

株式会社ノーザンライツ・コーポレーション

（前回と同団体）【賛成多数】

## 補 正 予 算

◆平成24年度久御山町一般会計補正予算（第4号）の専決処分につき承認を求めることについて

【全員賛成】

◆平成24年度久御山町一般会計補正予算（第5号）

（主な内容）

・財産管理一般事務費（組織改革関連）

694万円

・消防機械器具等整備事業

（はしご）車オーバーホール） 2678万円

・幼稚園施設整備事業

▲821万円

【全員賛成】

◆平成24年度久御山町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）

【全員賛成】

◆平成24年度久御山町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

【全員賛成】

◆平成24年度久御山町介護保険特別会計補正予算（第2号）

【全員賛成】

◆平成24年度久御山町水道事業会計補正予算（第2号）

【全員賛成】

## 補 正 予 算 の あ ら ま し

会 計 名	補 正 額	補正後の額	
一 般 会 計	5901万円	69億8026万円	
特 別 会 計	国民健康保険	3332万円	21億4957万円
	公共下水道事業	▲2930万円	9億 123万円
	介護保険	176万円	10億2673万円
企 業 会 計	水道事業	▲211万円	2億3851万円
	資本的支出		

※万円未満四捨五入（▲=減）

平成23年度

# 決算を認定

平成23年度一般会計と特別会計などの決算認定7件は、決算特別委員会(戸川和子委員長ほか6委員)において審査をおこないました。決算特別委員会の採決では、いずれの会計決算も認定すべきものとの結果ができました。

本会議では委員長より報告があり、採決の結果、次のとおり認定することとなりました。

## 会計別認定結果

- ◆ 一般会計  
 反対討論 三宅美子議員  
 賛成討論 堤 健三議員  
 (討論の内容は下記のとおり) 【賛成多数】
- ◆ 国民健康保険特別会計  
 反対討論 巽 悦子議員 【賛成多数】
- ◆ 三郷山財産区特別会計 【全員賛成】
- ◆ 公共下水道事業等別会計 【全員賛成】
- ◆ 介護保険特別会計 【全員賛成】
- ◆ 後期高齢者医療特別会計 【賛成多数】
- ◆ 水道事業会計 【全員賛成】

※【】内は、本会議での採決の結果

## ◆ 平成23年度 会計別決算額 ◆

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		68億1881万円	66億2209万円	1億9672万円
特別会計	国民健康保険	19億7712万円	18億9188万円	8524万円
	三郷山財産区	638万円	596万円	42万円
	公共下水道事業	8億2514万円	8億2221万円	293万円
	介護保険	9億8927万円	9億7625万円	1302万円
	後期高齢者医療	1億5651万円	1億5473万円	178万円
企業会計	水道事業			
	収益的収支	6億6347万円	6億3256万円	3091万円
	資本的収支	3億1268万円	5億1063万円	▲1億9795万円

※万円未満四捨五入(▲=不足額)



総括審査での採決

### 一般会計決算 反対討論 三宅美子議員

教育費の保護者負担の軽減策、子育て支援医療費の支給、のってこバスの継続、75歳以上の高齢者への人間ドックの補助、妊婦健診14回補助など住民が要求してきた施策は評価をするが、保育行政の一部を教育行政に任せ、十分な検証もないまま保護者・子どもに負担を押し付けている幼保一体化事業、まちの駅施設運営維持管理事業、人権対策費とした同和行政の継続、70歳以上の高齢者に対する敬老金の節目支給などに反対。

佐山保育所など公共施設の耐震化の早期完了や不況にあえぐ中小企業の再起のための施策の充実を求める。

### 一般会計決算 賛成討論 堤 健三議員

長引く景気低迷の影響で、実質単年度収支が4年連続の赤字となっており、財政の硬直化も進むなど、大変きびしい財政状況にある。

このような環境であるが、小学校の耐震化や空調の整備、子育て支援、生活弱者対策にも重点的な配慮がなされていることや、産業の振興や支援にも積極的に務められているものと受け止めている。

町税の増収が今後も見込めないなか、住民サービスを低下させないためにも、一層の行政改革を進めることを要望し、持続可能な行財政運営に全力で取り組まれることを期待して賛成の立場を取る。

# 常任委員会からの報告

12月13日の総務事業常任委員会では「東一口地区内の道路改良工事」について、11日の民生教育常任委員会では「居宅介護サービス助成制度廃止について」に議論が集中しました。  
各委員会での質疑応答について報告します。

## 総務事業常任委員会・協議会

### 桜19本撤去「地元了解なしになぜ入札したのか」

北川顔・東一口線の道路改良工事入札結果の工事等概要説明について、



京都の自然200選の桜

- 「桜木撤去」転落防止柵設置工事について質疑がありました。
- Q** 工事概要に桜19本の撤去とあるが、地元の了解はとれているのか。
- A** 地元調整を依頼しているが、その返事はまだもらっていない。
- Q** 着工は12月11日からとなっている。地元了解ももらえず12月4日に入札だ。当初の予算に組まれているのに粗いやり方だ。
- A** もっと早く地元に入って了解を取っておくべきだった。工事は、3月22日までが工期なので地元プロジェクトの了解が取れてからと考えている。
- Q** 地元のワークショップで、今後の進め方は決定していた。今になって「桜を19本切ることを決めた」では、地元は納得できない。なぜこんなことになるのか。
- A** 19本の了解はいただからと理解していたから桜を撤去しないとすれば入札料から差し引くことになる。地元と調整し、施工を進めていきたい。
- Q** 桜を撤去しなくても工事は進むのか。
- A** 川側に318本の転

## 民生教育常任委員会・協議会

### 「本当にこの制度止めてよいのか」 町「居宅サービス等利用者負担額助成」 制度を今年3月末で終了

平成13年度から実施してきた、「居宅サービス利用者負担額助成事業」を平成24年度（平成25年3月末）で終了するとの報告がありました。

終了の理由について、町は「在宅サービスが定着してきたことや、低所得者支援策（法人施設利



居宅介護など利用料の4分の1を助成している

- ない。地元の了解を求めたからにすぎない。
- A** 地元大型プロジェクトに了解を得る中で、現時点での着工は進めていきたい。
- 概要は次のとおりです。
- Q** 実際にサービスを受けている人は、事業の終了について納得しているのか。また、住民の声は反映しているのか。ケアマネージャーやヘルパーの声を聞いて、本当にこの制度を止めてよいのか。
- A** 住民みなさまの気持ちはお察しするが、制度の期限や現在の財政状況からも今後の助成は難しく、制度の終了となった。
- Q** 利用者への助成額と今後の周知についてはどうするのか。
- A** 助成額は平成22年度及び23年度はそれぞれ700万円ほどの助成だ。利用者は、平成23年度は438名の方が制度を利用されている。また、今後の周知については町ホームページなどで報告する。

## 一般質問

# 6人の議員が町政をたずねます



議場

12月定例会の一般質問は、12月18日におこなわれ、6人の議員が町政の当面する課題について、町長の考えをたずねました。

今回の質問の項目等は下記のとおりで、その主な質問・答弁の要旨を掲載しています。

### 質問者（質問順）

<b>岩田 芳一 議員</b> <b>一問一答方式</b> …7ページ ①子育て環境の整備として、子ども子育て関連3法について ②省エネ対策について	<b>中 大介 議員</b> <b>一問一答方式</b> …8ページ ①久御山町のスポーツ振興について ②学校給食について
<b>三宅 美子 議員</b> <b>一問一答方式</b> …9ページ ①農業施策について ②クロスピアについて	<b>中井 孝紀 議員</b> <b>一問一答方式</b> …10ページ ①行財政改革について ②新たな産業振興事業について
<b>島 宏樹 議員</b> <b>一問一答方式</b> …11ページ ①水道事業について ②職員の人材育成について	<b>巽 悦子 議員</b> <b>一問一答方式</b> …12ページ ①教育行政について ②高齢者福祉について
<b>一括質問方式</b> 従来からおこなってきた方式で、質問回数は2回までと決められています。	
<b>一問一答方式</b> 2回目からは、一つの事項を深く掘り下げて何度でも質問ができます。ただし、議員の質問時間は計30分に制限しています。	

あなたも議会を傍聴してみませんか。

3月定例会の一般質問は、3月12日(火) 午前10時に開会します。  
会議日程や傍聴手続きについては、議会事務局へ問い合わせてください。

■ 一般質問 ■

一問一答方式



岩田 芳一 議員

**Q 「子ども子育て関連3法」について 子ども子育て会議の設置は**

**A 設置が必要である**

質問

子育て家庭のニーズがより一層反映できるように、来年度から子育て当事者などメンバーとする、子ども子育て会議の設置の考えは。

社会福祉課長

子ども子育て支援法において、市町村が子ども子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育て当事者の関係者が関与・参画できる仕組みとして、地方版子ども子育て会議を設置することとされており、本町におい

質問

利用者の相談に、子育て支援拠点の体制の考えは。

社会福祉課長

ホームページ、広報などで案内をしていき、役

場窓口、保育所、幼稚園を初めとして子育て支援センター、あいあいホールなどで気軽に相談できるようにな形で、職員のほうも勉強するように努めていきたい。

**Q 「省エネ対策」として リース方式によるLED照明の導入は**

**A 積極的に進めていきたい**

質問

省エネ対策として、公共施設などへの民間資金を活用した、リース方式によるLED照明の導入の考えは。

総務課長

電力需給が逼迫した中、節電は喫緊の課題であり、省エネ対策は社会全体のテーマである。

そうした中で、具体的に

に公共施設のLED化は有効な対策の一つである。

また、その導入方法については、初期費用も比較的安価なリース方式は

から、検討を進めていきたい。

質問

町長は、今後どのように考えているのか。

町長

今後どのような形で、費用対効果を見込めるの

か、またリースの部分に關しても、日進月歩で価格も安くなっていくと思うので、その辺のタイミングを見きわめながら、積極的に進めていきたい。

最適であると考ええる。

LEDは蛍光灯と比較して二酸化炭素の排出量が60%削減できることから、今後、施設の改修などにおいてはLED化も含めて、最新機器の導入に努めていく。

質問

交通安全灯から、導入する考えは。

建設整備課長

LED照明については、積極的に導入したいと考えているが、その時期や方法については、今後、価格動向などを注視しな



LED照明が使われているクロスピアくみやま



中 大介 議員

### Q スポーツ大会の今後のあり方は

**A** 今後も地域の方などの意見を聞き、魅力ある大会を開催していきたい

#### 質問

町民運動会やくみやまマラソンを初めとする、各種スポーツ大会の今後のあり方をどのように考えているのか。

#### 社会教育課長

スポーツ推進委員会、体育協会、体育振興会、文化スポーツ事業団と行政が連携して町民運動会、くみやまマラソンなどのスポーツ大会を開催し、生涯スポーツの推進に努めている。  
今後も、子供から高齢者までが楽しめるスポー

#### 質問

町の導入や普及で、スポーツ人口の増加を目指していきたい。

視察で、埼玉県の川島町に行ったのだが、住民主体の意識がとても感じられた。

現在、町民運動会は参加自治会が決まっていたり、高齢化が進む中、参加方法や競技内容の変更は。

#### 社会教育課長

毎年、参加対象や競技種目を見直すとともに、観客の立場からも楽しく

観戦できるような運営をおこなっている。

今後も地域の方や体育協会、スポーツ推進委員の意見を聞きながら、住民の皆さんが楽しく過ごしていただける、魅力ある運動会やマラソンを開催していきたいと考えている。

#### 質問

グラウンドの使用方法として、河川敷は広いので、小学生の使用の際は使用面を増やしたり、中

央公園でも現在は一つの団体しか使用できないが、小学生の野球とサッカーであれば半面ずつ使用できるようにするなど、今後の利用方法の改善は。

#### 社会教育課長

開設時から施設の規模などから、使用者間のトラブルや事故防止も勘案したところ、予約の優先登録制度などを活用し、有効的・安全に施設の利用をお願いしたい。



木津川河川敷運動広場

### Q 幼保小中でひとしく給食を

実施することが最善の方法では

**A** 検討をおこなっていききたい

#### 質問

給食について、保育所では、給食が実施されていて、幼稚園の年長も、幼保の一体的運営の中で、給食が提供されている。年少、年中は午後保育がある場合、お弁当を持っていつている。

#### 質問

非常に財政が厳しい状況にある中、多くの保護者が中学校給食の導入を早期に実現してもらいたいと望んでおり、コスト面を考えると、給食センターを設けて、幼保小中でひとしく給食を実施することが最善の方法では。

#### 教育次長

幼稚園の5歳児については、保育所児と同じものを提供している。この給食は、小学校給食の設備・施設を活用して提供しているのので、提供できる食数も限りがあるというのが現状である。

#### 教育次長

来年度から中学校の給食の導入に向けて検討していくが、既存の給食の施設、設備をどうしていくかの議論も必要である。

保育所、小学校の給食の施設、設備も、建築後40年以上経過している。今後、中学校の給食導入を検討していく中で、給食の提供の方法にも多くの選択肢がある。将来的に全般の給食を考慮する中、センター方式についても、一つの選択肢であると考えている。





三宅 美子 議員

### Q 農家の暮らしの安定と農産物の価格保障についての考えは

#### A 戸別所得補償制度と独自施策で支援

##### 質問

農業を取りまく状況はきびしいが、農家の暮らしの安定と農産物の価格保障についての考えと取り組みを聞く。

##### 産業課長

農産物の価格保障の件は代表的なものとして、農業者戸別所得補償制度がある。この制度は米や麦、大豆などの販売価格が生産費を恒常的に下回った場合に、その差額を交付し、農業経営の安定化と国内生産力の確保

長期的な計画を策定する中で、国、また府の施策につながるもの、また逆にその両者間のすき間を

埋める事業などを中心に町の農業施策の支援策を検討したい。

### Q 農業委員会を独立組織に

#### A 行政改革の取り組みの中で検討したい

##### 質問

農業委員会は農地法改正により農地の利用確認、各届出、遊休農地の対応、農地不法使用の指導など業務が増えたが職員は削減された。行政委員会として、専任の職員を置く独立した組織にすることを求める。

##### 総務部長

農業委員会は、市町村に設置されている行政機関であり、近年、その業務は農地法の改正などにより、大変増加しているのが実情である。中でも権限移譲された農地法第3条（許可権限）に伴う事務処理件数が京都府内

においても3番目に多い状況と聞いている。また、不正に農地を目的外使用する事案もあり、その指導・勧告に係る業務も農業委員会の大きな役割となっている。

現在、農業委員会の事務局長は、産業課長が兼務し、事務局である農政係として、正職1名、嘱託1名、臨時職員1名の

に設置されている行政機関であり、近年、その業務は農地法の改正などにより、大変増加しているのが実情である。中でも権限移譲された農地法第3条（許可権限）に伴う事務処理件数が京都府内



現地調査する農業委員

体制で業務をおこなっている。独立した組織、また専任の事務局体制の確立については、現在、進めている行政改革の取り

組みの中で、十分議論し、農業委員会の体制のあり方について、検討したいと考える。

### Q クロスピアのバス待合室 年末年始の開放を求める

#### A 試行的に開放し 実態把握に努めたい

##### 質問

年末年始に休館されるクロスピアのバス待合室は利用者から不満の声がある。年末年始の開放を求める。

##### 産業課長

バス待合室の年末年始の開放については、昨年末に状況把握のための調査をおこなった。しかし、今春、近くの大規模商業施設の営業時間の変更やそれに伴い、バス運行便数の変動、さらには人の動線などに変化が生じている状況である。まちの駅クロスピアくみや

まの開館は、設置条例に定めるとおり、12月29日から1月3日までの間は、原則年末年始を休館日として、施設本体事業を休むことにしている。バス利用者の待合機能の環境改善を図るために必要最小の範囲で待合スペースの開放、またトイレ利用

を可能とするなど利用者への利便性の確保と合わせ、施設そのものの安全性を確保するために、今年の年末年始を試行的に開放し、実態把握に努めていきたい。



中井 孝紀 議員

Q 住民サービスの方向性は

A 近隣市町のレベルは確保する

質問

町税の落ち込みが著しく、実質単年度収支は4年連続の赤字で、経常収支比率も94・7割となるなど厳しい財政運営が続いている。

そうした中、町長は、「大幅な歳出削減に取り組みが、できるだけ住民サービスを低下させないことを最優先にする」と述べられているが、現実的に可能なのか。

町長

限られた財源の中で、高齢化に伴う扶助費が増加することが明らかであ

町長

子どもが減少している中で、保育所と幼稚園の統合も考えていく必要がある。そうすれば、幼児教育の充実と保護者の利便性が図られ、保育所施

Q 新しい産業振興事業は

A 各方面から広く提案を受ける

質問

久御山町の一大イベントとして23年間続いてきた『ふるさとフェア久御山』が、財政状況の悪化などから最終回を迎えた。

町長は、「多くの惜しむ声を聞いたので、新たな産業振興事業を検討したい」と述べられているが、どのような内容で進めるのか。

町長

フェアは、毎年1000万円以上の補助金を出して開催してきたが、住民に喜んでもらうものから、商売色の強いものに

設の老朽化や運営体制についても効率化につながることから、早期に検討していく。

また、民営化も選択肢の一つになり得ると思う。

なっており、財政状況が大変厳しいことから、徹底した行財政改革を余儀なくされた。

今後は各方面からご意見、ご提案を受ける中で協議をおこない、実施計画に位置づけて新たな取り組みを検討していきたい。

質問

1000万円の費用をかけても、各ブースで多くの売り上げがあり、町内外へ久御山ブランドのPRができていると思われが、実態は把握されているのか。

町長

設の老朽化や運営体制についても効率化につながることから、早期に検討していく。

町長

売り上げの把握というものには認識していない。

質問

事業提案はどの方面に対していつまでにいただくのか。

町長自身の思いをPRする必要があるのでな

いか。

町長

J Aや商工会に対して声が上がるように依頼しているが、その他にも運営協議会などいろいろなご意見を一日でも早くのように物事を進めていきたい。



惜しまれながらも最終回を迎えたふるさとフェア久御山



島 宏樹 議員

### Q 水道施設整備の現状は

### A 基幹施設の耐震化は平成25年度に完了する

**質問** 久御山町の水道事業は昭和43年4月から始まり、44年間に経過している。現在の水道施設ならびに配水管路についての現状は。

**回答** 今後は、石綿管や広域避難場所および重要給水施設を結ぶ配水管の改修などの耐震化を図り、安心で安全な水道水の供給につとめていく。

**水道課長** 施設や配水管の現状は、基幹施設の佐古浄水場の耐震化が平成25年度に完了する。配水管は、平成24年度末の総延長約96kmのうち、耐震化している配水管は約14kmで、耐震化率は約14・7%となっている。

### 質問

年間に漏水の事故が何件くらい起こっているのか。またその原因は。

**水道課長** 漏水件数は、平成22年度は48件、23年度は43件、24年度は、現在のところ26件の漏水処理をした。主な原因は、不当沈下によるつなぎ手からの漏水と鉛管による腐食漏水がある。

### 質問

石綿管、重要管路を全部布設替えするとどれくらいの費用か。

**水道課長** 石綿管は、未改修延長が1282mで改修率は67・6%となっている。



佐古浄水場第一配水池耐震工事

27年度をめどに全て改修していく。その事業費として、本年度を含め約1億円を予定。

**重要施設、広域避難場所から重要な給水施設までの配水管の耐震計画は26年度から10年計画で整備し、その事業費は約9億円を予定している。**

### 総務課長

職員研修は、人材育成基本方針に基づき、計画的に取り組んでいる。研修項目は、基本研修、特別研修、委託研修、派遣研修、自主研修に分類し、多様化する住民ニーズに対応するために、職員の意識改革、能力開発を積極的におこない、職員がやりがいをもって業務に遂行できるよう、毎年、行政ニーズに応じた計画を立て職員の育成を目指している。

### 質問

人材育成で一番大事なことはやる気である。そのためには職員間の交流も大事。部や課を超えた交流や研修、討議はあるのか。

### 総務課長

職場間を超えた議論とか討議の場はないのが現状。所属課員、係員である前に、久御山町の一人として行動すべく、今後、議論、討議の場を促し職員全体のスキルアップに努める。

### 質問

行革には人材育成が一番大事。常に緊張感を持ち久御山町独自の人材育成をおこなう考えはあるのか。

### 総務課長

補助は研修費の2分の1、限度額1万5000円の補助制度を設けている。

### 町長

人材育成は大事なことで非常に重要である。異業種での交流、できる限りの資質、人間力を高める研修を今後取り入れ実施していきたい。

### Q 久御山町の人材育成の現状は

### A 人材育成基本方針に基づき取り組んでいる

### 質問

現在、久御山町の職員に対し、どのような教育

や研修がおこなわれているのか。



巽 悦子 議員

生活援助  
時間短縮

人間の尊厳失われるのでは

時間のことでコミュニケーションできる

質問

介護保険認定結果が、法律の30日を越えても通知がない状況がある。現状と今後の状況は。

長寿健康課長

一昨年あたりから認定申請件数が増えてきたことで、期限内に履行できない状況であった。平成24年、京都府に対し認定審査会開催の増加を要望し、この11月から本町の認定調査員体制を2人から3人にしたことで、現在は30日から40日で認定処理できる状態になっている。

質問

4月から改定介護保険法により、生活援助の時



洗濯機は最短でも20分以上はかかる

質問

今年、京都ヘルパー連絡会は、生活援助が短縮になってからの現場と利用者の声をまとめた。

利用者は「ヘルパーさんが忙しそうにしていくから声もかけられない」また、ヘルパーは「単なる家事援助だけでなくコミュニケーションを大事にしている仕事」「結局サード残業してしまふ」という声がある。この時間短縮は、一人

間区分は、30分以上60分未満又は60分以上が、20分以上45分未満又は45分以上に再編された。各事業所での変更はどうか。

長寿健康課長

事業としては利用者のためにできるだけ改正された時間内区分でサービス業務ができないか工夫しながら取り組んでいたという状況だ。

質問

今年4月からは、利用料とは別に訪問介護処遇改善加算を払うことになった。また来年10月から年金が減額となる。そ

利用者は「ヘルパーさんが忙しそうにしていくから声もかけられない」また、ヘルパーは「単なる家事援助だけでなくコミュニケーションを大事にしている仕事」「結局サード残業してしまふ」という声がある。この時間短縮は、一人

質問

いじめ実態の本町中学校アンケート結果について見解を。

教育長

いじめは重大な人権侵害である。いじめが発生しない「クラスづくり、学校づくり」と教員の資質向上が必要である。学

携えて進めていきたい。

質問

子どもたちに先生が向き合えるためにも、小中学校を30人以下学級にする必要があるのでは。

教育長

小学校1年生は30人学級、2年生もその導入が図られている。また独自で加配教諭を置き、少人数指導をおこなっている。

質問

少人数学級と少人数指導は違う。学級活動面からいっているもので、このことは求めておく。

次に、子ども同士が意見を述べ合い決めていく、学級活動の時間は減ってはいないのか。

教育長

今までどおりの形の時間数を確保している。

質問

子どもに発言権利があるといった「子どもの権利条例」をつくる考えは。

教育長

子どもの権利条約を十分斟酌し、守っていかねばならないと考える。

# 閉会中の 事務調査

## 町内の排水機能は？福祉施設は？

各常任委員会では、定例議会がない時も担当所管からの出席を求め町が実施している事業などの調査をおこなっています（閉会中の事務調査）。11月におこなわれた総務事業常任委員会と民生教育常任委員会の調査内容をお知らせします。

### 総務事業常任委員会(11月12日)

#### 巨椋池区域の排水 上・中・下段に分類し宇治川へ

8月の洪水被害を検証するため、町内にある3サイフォンを現地視察し、排水経路などを調査した。国土交通省久御山排水機場は、毎秒90ト、巨椋池排水機場は毎秒80トの排水能力を有している。巨椋池地域の排水については、上段、中段、下段に分類し、それぞれ排水幹線を通じて宇治川へ排水している。上段を流域とする古川は、国土交通省久御山排水機場を経て宇治川へ排水され、中段、下段の流域については大内川、中内、観世サイフォンから巨椋池排水幹線を経て、農水省巨椋池排水機場から宇治川へ排水されている。



大内川サイフォン

#### ◆大内川サイフォン

大内川流域（約629鈔）については、荒見都市下水路と大内都市下水路が出水範囲となり、大内川サイフォンを経て巨椋池幹線から宇治川へ排水されている。

\*大内川サイフォンの疎通能力は毎秒33ト

#### ◆中内サイフォン

中内流域（約120・7鈔）については、中内

サイフォンを経て、巨椋池排水幹線から宇治川へ排水されている。

\*中内サイフォンの疎通能力は毎秒9トン

#### ◆観世サイフォン

観世サイフォン流域（64・55鈔）については、

観世サイフォンを経て巨椋池排水幹線から宇治川へ排水されている。

#### ◆久御山町佐山排水機場

佐山排水機場から古川に排水している。

### 民生教育常任委員会(11月26日) 子育て支援と高齢者福祉 少子高齢化社会…その対策は

#### ◆子育て支援センター

「あいあいホール」  
少子化と核家族が進む



町子育て支援センター「あいあいホール」(佐古)

なか、同じ年頃の子どもをもつ母親との繋がりや、いつでも利用できる施設を求める声が多くなり、平成20年開設した。

だれでも相談ができ、親同士の出会いや交流、情報の交換をおこなうなど積極的に活用され、地域のボランティアやマンパワーが最大限に活用できる施設であって、利用者には久御山町内在住で小学校就学前の乳幼児とその保護者である。

#### ◆老人福祉センター

##### 「荒見苑」

昭和58年当時、高齢者からは「老人福祉センター」建設を願う強い要望があった。そこで老人福祉センター建設懇話会を設置し、お年寄りの交流や憩いの場として、また、健康維持のためのトレーニングや入浴、趣味などが楽しめる施設として、昭和60年4月、久御山中央公園内に開設した。今年度末で、開設から28年目を迎える。

#### ◆久御山町健康センター

##### 「いきいきホール」

平成15年4月に開設。介護予防の拠点なる施設として、40歳以上の住民の体力・筋力の維持・増強を目的としている。施設内では、インストラクターによる様々な機器を使った健康増進がおこなわれている。

平成21年4月から、指定管理者制度を採用し、施設の管理・運営・設備などを委託している。

# 委員会 視察報告

## 民生教育 常任委員会

委員会 視察報告

かわしまち  
川島町 (埼玉県)

10月22日

### 年々増える参加者

#### 川島一周ハイキング

がオリンピックに出場したことがあるという川島町は、昭和52年に『スポーツ都市宣言』をおこない、施設では、多目的広場、体育館、武道館や弓道場などを整備した。

昭和初期に、町出身者



トラックが外周にある川島町の多目的広場

多目的広場のトラックは1周400メートル。このほか堤防を活用した「川島一周ハイキング」は、10キロ、20キロ、30キロのコースで、参加費は無料。各コースには、住民

の中でも非常に高い。また、市は資源化を推進するため、リサイクルのリーダーは、自治会からの推薦者を市長が委嘱している。

や企業から飲食物の提供があり、昨年の参加者は1000人を超え、年々増加傾向である。

また各種スポーツ事業を実施するため、100人以上の指導員がいるが、進む高齢化が今後の大きな課題でもある。

まちだし  
町田市 (東京都)

10月23日

### 「燃やさない」「埋め立てない」に力

人口43万人の町田市は、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加したため、ごみ問題が行政としても大きな課題である。市民はごみに対する意識が高く、ごみの分別が徹底されている事で、リサイクル率は中核都市



2000年に町田市は「環境基本条例」を策定

市は、行政の役割として、市に関わるすべての人々が共に環境の保全・回復・創造に向けて取り組む方向性を示した『町田市環境基本条例』を2000年に策定した。また、廃棄物減量化推進審議会の答申を受けて、ごみは「燃やさない」「埋め立てない」とのダイオキシシン対策と資源の有効利用から、プラスチックを資源として回収する事

を計画している。現在3600世帯1万人を対象にモデル実験をおこない、今後は全地域に拡大する方針である。

また集合住宅からの生ごみは、大型の生ごみ処理機を住民に貸し出し、堆肥として資源化を推進している。

まちだし  
小平市 (東京都)

10月24日

### 地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える

小平市の人口は約19万人。社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中で、いじめや不登校、登下校時の安全確保など多くの困難な課題を抱えている。

小平市は、平成13年に『小平教育改革アクションプラン』を策定し、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える事を目的にした。



小平市地域教育サポートネット事業の説明を受ける

平成14年には東京都の補助事業として、『小平市地域教育サポートネット事業』に取り組み、学校へのボランティアの導入と、地域を結ぶコーディネーターは、小・中学校で39人が活動している。また、小・中学校27校では、毎年延べ4万人が、学習・図書・環境などで学校ボランティアとして活動している。これらは地域の絆づくり、地域の活性化、学校を核とした地域づくりに役に立っているとのことである。

# 総務事業 常任委員会

委員会 視察報告

## あみまち 阿見町 (茨城県) 11月6日

### 水道事業の民間委託 一部から全面に変更

1日目は、茨城県阿見町へ、「水道事業にお



水道事業のアウトソーシングについて説明を受ける

るアウトソーシングについて」を研修しました。阿見町の水道事業は、平成21年度までは一部事業の民間委託（アウトソーシング）でしたが、平成22年度からは、全てを民間に総合委託することになりました。業務内容では、12種類を業務委託しており、総合委託による増収効果は、約1111万円とのことでした。

## まつだまち 松田町 (神奈川県) 11月7日

### 既存バスの増強で 独自の交通政策を展開

2日目は、神奈川県松田町へ、「デマンドバスの運行について」を研修しました。松田町のデマンドバス事業は、平成23年度から



既存バスの増強で住民の足を確保(松田町)

\*デマンドバスとは：利用者が希望する乗降場所や時刻などの要求（デマンド）に応じて、「乗り合い」方式で運行するバスのことです。路線廃止された後の交通手段とされるケースが多いようです。

試行実施されましたが、利用者も少なく、経費も重なり、また平成24年9月で補助金が無くなるために、デマンドバス運行の実現には至らなかったとのことでした。しかし、平成24年10月から、既存のバスを増強することで、新しい松田独自のバス交通政策を展開されていきました。

## ちよだまち 千代田町 (群馬県) 11月8日

### デジタル方式に変える 同報系防災無線

3日目は、群馬県千代田町へ、「防災行政無線について」研修しました。千代田町の防災行政無線事業において、平成元



千代田町の同報系防災無線機器

\*防災行政無線(同報系)とは：防災用情報伝達として使用しているのが無線通信システムです。国が整備し関係省庁への情報伝達する中央防災無線、都道府県が整備する都道府県防災行政無線、そして市町村が整備し、住民への防災情報を伝達するのが市町村防災行政無線といえます。通信の仕方には、屋外に設置したスピーカーで住民に一斉に通報する同報系と携帯したり車に搭載して利用する移動系とがあります。

年に同報系防災無線（アナログ式）が導入されました。平成23年度からは、アナログ方式からデジタル方式の移行に向け、5カ年計画で、総事業費1億4179万円をかけて、デジタル化工事を始めておられ、平成27年をめぐりに、完全移行を進めておられました。

# 議会活性化 特別委員会

委員会 視察報告

## 所沢市議会 （埼玉県） 11月19日

『テレビみたいにやろー！』

所沢市議会は、議会報告会や政策討論会などの議会改革を積極的に実践され、平成23年度には全国の31議会から視察を受けた先進地です。



「TVみたいにやろー！」の政策討論会の報告を聞く（所沢市議会）

討論会』について特に説明を受けました。

討論のテーマは、『これからのまちづくりを考える』、『議会から見た地域経済の活性化と所沢ブランドの創造』について、12人の議員が『テレビみたいにやろー！』という気持ちで臨まれました。会場には138名の住民が参加され、活気ある討論は市民の評判もよく、各議員の共通認識も高めることができると教わりました。

## 三芳町議会 （埼玉県） 11月20日

『できることからやろー！』

三芳町議会は、『できることからやろー！』ことを合言葉に、午後9時半までの夜間議会や、予算審議の日曜議会、住民との『ふれあい座談会』などを積極的に実施されている先進地です。



三芳町議会のジャンパーとのぼり



「できることからやろー！」三芳町議会で

参加者が少ない現状を改善するために、議員がジャンパー姿でのぼりをもち、駅で各種案内チラシの配布などをおこなわれています。積極的に住民に関わっていこうとする姿は勉強になりました。久御山町議会におきましても『できることからやろー！』という精神で、議会の活性化を一層進めていきたいと思えます。

### 会派研修レポート ①

## 3・11東日本大震災〜その後

### ◆緑風会 視察報告 （10月1日〜3日）

## 相馬市（福島県）

### 防災備蓄倉庫新築で 防災に備える

相馬市は甚大な被害を受けた。平成23年3月11日に発生した、三陸沖を震源とするマグニチュード9・0の地震による津波で、死者が477人、住宅被害は5584棟です。

相馬市は、原発風評被害で物流などのストップがあったため、市はトラックを借り上げて対応しました。その後、経済自殺対策や孤児義援金条例の制定、仮設住宅（組長会議）の立ち上げ、中小企業の再建などに取り組みました。新防災備蓄倉庫を新築し、米30トと飲料水30万本を備蓄しました。

また、新潟市から震災を経験した職員が派遣されたことで、復興ノウハウが復旧・復興に貢献しているとのことでした。

## 新地町（福島県）

### 一番の不足は担当職員

新地町では、死者16人、住宅被害は662棟でした。

新地町地域の総合的開発をめざした「相馬地域開発計画」には、相馬港

や、新地火力発電所を背景に中核工業団地の計画があります。

復興計画は、新地町復興計画策定本部会議で計画を決定したが、役場が今一番不足しているのは担当職員数です。

復旧・復興には、国の所管間の大きな規制の障壁があると感じました。

\*原発事故により、全住民が避難した浪江町も視察するなど、福島県、宮城県内8箇所を視察しました。



南三陸町役場防災対策庁舎



石巻市立大川小学校



## 60カ所のまちの駅で観光交流

◆ネクストくみやま 視察報告  
◆自由クラブ (10月17日～18日)

### 長泉町 (静岡県)

#### 豊かな財政力を生かした住民の憩いの場

財政力指数1・44を誇る長泉町は、静岡県東部に位置し、神奈川や東京の都市圏として人口4万2000人を有します。

文化振興の拠点として開設した長泉町文化センターの愛称は「ベルフォーレ」、会館の東側にある森をイメージした「美しい森」という意味です。

旧公民館の敷地と民有



二階席もあり、座席はゆったり

霊峰富士の南嶺に広がる富士市は、古くから製紙業が盛んな人口26万人の中核都市。東海道新幹線、東名高速道路、国道1号線が市内を横断し、新東名高速道路も開通するなど、豊富な地下水にも恵まれた自然環境と交

#### 富土市 (静岡県)

きっかけは弱点であった観光の振興

富土市は、古くから製紙業が盛んな人口26万人の中核都市。東海道新幹線、東名高速道路、国道1号線が市内を横断し、新東名高速道路も開通するなど、豊富な地下水にも恵まれた自然環境と交



駅長さんを交えて説明を受ける

通の要衝です。

富士山麓ということもあり、観光客にも恵まれているように思われがちですが、もともと観光面に弱く、平成16年に市の「観光交流まちづくり計画」の重点プロジェクトの一つとしてまちの駅を位置づけ、住民参加による観光計画を進めてこられました。

まちの駅は市内60カ所に展開し、まちの駅ネットワークを形成しています。各駅には駅長さんがいて、駅長会議を開かれるなど、活発な交流が見られます。駅は多種多様で、ホテル、診療所、商店、お寺、郵便局、市民活動センター、商工会など構成されています。

## 「生き残りをかけた戦略」で活性化

◆清風会 視察報告  
(11月27日～29日)

### 海士町 (島根県)

#### 財政再建でまちおこしに成功

島根県隠岐郡海士町は、日本海の島根半島沖に浮かぶ隠岐諸島の一つです。

昭和25年当時7000人近くあった人口は、平成22年には2374人へと激減し、高齢化率も39%で超過疎化・少子高齢



地産地商「島ごとブランド化」で再生に挑戦する海士町

化が進み、厳しい財政状況となりました。

そこで町は、「生き残りをかけた戦略」で、徹底した行財政改革と「攻め」の産業振興策をおこないました。

平成16年度から給与カットをはじめ17年度には人件費削減効果が約2億円に達成し、ラスパイルス指数は全国最低の72・4割となりました。

他にも、補助金の見直しやあらゆる経費カットも断行しました。

その後、「攻め」の戦略として、産業3課(交流促進課・地産地商課・産業創出課)を設置し、「島ごとブランド化」の地域再生戦略を進めました。

起業に対しては行政が積極的に支援しながら、島全体を活性化させ、現在まで7つの法人、5つの個人やグループや集落による実績があり、海士町の「新しい力」となっています。

教育にも力を入れていきます。廃校寸前まで追い込まれた島前県立高校に全国から生徒が集まるようにと、『島留学制度』をつくりました。

今では廃校寸前の高校が、2クラスになるまでになりました。さらに学力アップのために、学校連携型の公営塾「隠岐学習センター」を創設しました。

## 久御山町議会

## 地域懇談会の報告

久御山町議会は、開かれた議会づくりと議会活動の充実を目的に、住民の皆さんの声をより広く聞かせていただき、議会活動のさらなる活性化を図るため、地域懇談会を3会場で実施しました。その内容をお伝えします。

**10月20日(土) 午後7時**

## ゆうホール会場

- ◆住民参加者：9人
- ◆議員：13人（1人欠席）
- ◆参加された皆さんの声

クロスピア周辺事業について／のってこバスについて／住街区促進ゾーン計画について／佐山西ノ口地域の開発について／ペットボトル等再生資源処理企業について など



**10月27日(土) 午後7時**

## コンベンションホール会場

- ◆住民参加者：6人
- ◆議員：14人
- ◆参加された皆さんの声

クロスピアくみやまについて／のってこバスについて／ゴミ問題について／公共施設について／ペットボトル等再生資源処理企業について／町民運動会について／議会運営について／難聴者対策について など



**11月10日(土) 午後7時**

## クロスピアくみやま会場

- ◆住民参加者：8人
- ◆議員：14人
- ◆参加された皆さんの声

クロスピアくみやまについて／水辺公園について／のってこバスについて／住街区促進ゾーン計画について／体育館について／農地の基盤整備について／犯罪被害者支援法について／議会運営について など

- お聞きしましたご意見・ご提言・ご要望につきましては、会場でお答えさせていただいた事のほか、議長が重要と判断しました案件につきましては、行政に報告いたしますとともに、議員各個人が今後の議員活動のなかで取り組んでまいります。
- 地域懇談会は、定例開催以外にも各種団体からの申し出がありましたら、必要に応じて開催します。

# きて・みて・議会！

## ぶら〜り議会見学会

昨年の11月3日(祝)、久御山町民文化祭が久御山町中央公民館で開催されるのに合わせて、3回目の議会見学会を実施しました。

この議会見学会は、平成22年度から取り組んでいる「住民の皆さんに議会に対する理解を深め、親しんでいただくため」の事業で、議会施設の見学や議会の仕組みについての説明など、各議員が見学に来られた住民の皆さんを案内しました。

当日実施しました議会見学会のアンケートには、「議員の説明がわかりやすかった」、「議員と話ができて楽しかった」、「また参加したい」などの好印象のもののほか、「久御山町のために今後も頑張ってください」との激励など、貴重なご意見・ご要望をいただきました。

ご来場ありがとうございました。



議場内での見学風景



議会棟ロビーにて

### 議員研修

全国町村議会広報研修会に参加しました。

◇10月29日(月)〜30日(火)

◇シエーンバツハ・サボー(東京)

〈参加委員〉

中 大介 副委員長  
河原崎博之 委員

1日目の研修では、今後の議会広報のあり方や、企画編集、写真撮影の方法を研修しました。

また2日目には、全国の7町村の議会広報をコンサルタントの先生とともに拝見し、久御山町の議会だよりの評価もされました。他の町村は誤字脱字や、文章表記などの修正点がある町村もありましたが、そのような指摘はなく、文字のレイアウトや写真の表現方法など細かい点を指摘されました。

今回の研修で、他の町村の優れていた点を参考

にし、住民の皆さんにより親しまれる記事の掲載や新たな取り組みの必要性を感じました。



### 冬のたより

聖護院大根は、京野菜のひとつで、冬には欠かせない食材です。約200年前に、尾張から左京区聖護院の寺に奉納された当初は長い大根が、何年も大切に育てているうちに丸くなりました。

地元では淀大根と呼ばれ、東一口地区が主産地で、12月〜2月が出荷の最盛期です。

この淀大根は、ビタミンが多く、煮くずれしないと大変好評で、京阪神はもとより、関東・首都圏にも販売され、人気を集めています。

### 広報特別委員会

委員長 巽 悦子  
副委員長 中 大介  
委員 岩田 芳一  
委員 河原崎 博之  
委員 中井 孝紀  
委員 樋口 房次



# 目標は実業団で走ること

大阪経済大学2年生  
谷本 旭洋さん(20歳)

ホープ登場⑩は、11月4日の第44回全日本大学駅伝で1区を走った谷本旭洋さん(島田在住)です。「走ることが大好き」な少年が、大学駅伝の選手になるまでを直撃インタビューしました。

## 兄がいたから頑張れた

小学校でのマラソン大会では、いつもトップを走っていた谷本さん。「走ることが大好き」な少年の心の中には、いつも良きライバルであり、心の支えでもある2歳年上のお兄さんがいました。

## 初めて走った1区

「兄がいたから頑張れた」と語る谷本さんに  
第44回全日本大学駅伝選手権大会(11/4)は、



ホープ登場⑩  
直撃インタビュー

とってお兄さんはいつも道標みちしるべのような存在でした。小学校時代に地元少年野球に入団したのも、中学、高校、大学もクラブ活動も全てお兄さんと同じ道を選んできました。

全国の強豪26大学が、名古屋の熱田神宮から伊勢神宮までの107キロを、8人の選手が襷たすきを繋いで走ります。  
19回目の出場を決めた大阪経済大学ですが、選手全員が大会初参加でした。第1走者の谷本さんに、監督は「先頭集団に着いて行くように」と指示を出しました。

大会当日、興奮と緊張感が高まる第1走者のスタートライン。合図とともに26人が一斉に走り出しました。初参加と第1走者というプレッシャーで、自分のリズムがつかない谷本さんは、目標タイムを90秒遅れたまま、悔しい思いで襷を繋ぎました。

家族で応援にかけつけた谷本さんの祖母は、「一生懸命走る孫の姿を見てたら自然と涙がこぼれた」と振り返ります。

## 目標は実業団から選手で走ること

「日課は？」の質問に、「朝7時頃から自宅周辺

を10キロ、授業終了後は大学の専用トラックを20キロ走っています」と答える優しい瞳の奥には、ランナーとしての「次への挑戦」が感じられました。目標は、「駅伝が強豪な実業団から選手で走ること」です。フアイト！(聞き手:文/広報特別委員会)

## 表紙の「くみやま」を書いたのは



佐山小学校1年生  
やまもと さえ  
山本 紗愛さん

「なわとびが大好き」な紗愛さんは、とび箱も好きです。特に、ピッと両手を伸ばして着地するところがとても気持ちが良いのだそうです。

紗愛さんの将来の夢は、「プロゴルファー」になること。お父さんがゴルフのテレビを見ていたり、素振りしている姿が大いに影響しています。夢をあきらめないで…。

